

会議の概要（議事録）

会議の名称	墨田区消防団運営委員会（第4回）		
開催日時	令和3年7月13日（火） 10時00分から10時47分まで		
開催場所	墨田区役所（17階）第一委員会室		
出席者数	<p>28人</p> <p>【委員】14人</p> <p>委員長（区長）</p> <p>学識経験者3人、区議会議員6人</p> <p>本所消防署長、向島消防署長</p> <p>本所消防団長、向島消防団長</p> <p>【オブザーバー】副区長</p> <p>【事務局】12人</p> <p>都市計画部危機管理担当部長、防災課長、防災係職員（4人）</p> <p>本所消防署警防課長、向島消防署警防課長、消防署職員（4人）</p>		
会議の公開 （傍聴）	公開（傍聴できる）	傍聴者数	0人
議題	水災時において消防団員が効果的に活動する方策はいかにあるべきか		
配布資料	墨田区消防団運営委員会（第4回）		
会議概要	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 これまでの審議経過及び最終答申（案）について 委員会資料に沿って説明</p> <p>4 主な意見・質問</p> <p>【委員長】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>1番から8番まで、取りまとめをいただいた答申（案）の説明をしていただきました。</p> <p>きょうは第4回目ということで、第2回と第3回でいろいろいただいたご意見を反映させていただいているということで、この最初答申（案）をお示しさせていただいたということでございます。</p> <p>それぞれ大変詳しく説明していただき、「こういう課題があるんだ」ということがよくわかったところもございます。</p> <p>今の説明につきまして、委員の皆様からご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>その前に、事務局のほうから追加で何かありますか。どうぞ。</p> <p>【事務局】（向島消防署警防課長）</p> <p>申しわけありません。「第3回答申（案）における委員意見及び反映概要等」の資料に</p>		

ついて、説明を忘れておりましたので、ここでさせていただければと思います。

「別紙１」をご覧ください。

まず、本所災害防止会の委員からいただきましたご意見についてです。

令和３年５月２０日から、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に統一されている。

「江東５区大規模水害広域避難計画」では、現時点で「勧告」と表記されていることから、このような表記になっているのか。

これは、本年度は、災害対策基本法のガイドラインにおいて、「避難勧告」が消えまして、「避難指示」となっております。

ご意見のとおり、「江東５区大規模水害広域避難計画」では、まだ表記が変わっておりませんので、このような「勧告」という表記をさせていただいたという状況でございます。

今後、避難計画の修正がなされた場合には、これを修正していくこととなります。

次に、区議会議員の委員からいただいたご意見についてです。

幹部研修等の内容に、「水災時に特化した安全管理及び指揮要領の充実を図る」とあるが、答申（案）の「装備資器材の増強」でも要求した救命用ボートを活用した内容にしてはどうか。

このようなご意見に対しては、現時点では、先ほど申し上げましたように、救命用ボートの配置はありませんので、今答申（案）で配置の要望をいたしていく所存でございます。

今後配置された場合は、各研修等での教養をしていきたいと考えております。

次に、区議会議員の委員からいただいたご意見についてです。

消防団本部の機能を維持する要員は、どのタイミングで避難するのか。

このご意見に対しては、分団本部移転団員が消防団本部（消防署内）に集約したあとの避難は想定しておりません。こちらは、消防署の中に消防団本部は設置されておりますので、食料等の備蓄や建物の安全性を考慮しまして、そのままのほうが良いだろうというところで、この消防団本部にいらっしゃった団員の方は、避難は想定しておりません。

そして、消防団本部と消防署隊が連携して、災害対応及び情報収集等の任務を継続してまいります。

もう１つのご意見についてです。

各分団に配置されている大型発電機等は、震災時には大いに活用されることが考えられるが、浸水した場合、全く使えないのではないかと。

また、各分団の保管方法や浸水リスクを考えた場合の対策を、早急に提示すべきと考える。

こちらのご意見に対しては、河川の氾濫等で浸水が発生した場合には、大半の分団本部が活動不能になりますことから、資器材にあっても不能となってしまいますので、今答申（案）において、分団本部機能の確保について、この点も含めた要望をしております。

以上が、第３回のときの答申（案）に対して、各委員の皆様から出されたご意見を反映した概要となっております。

【委員長】

ありがとうございました。

事務局のほうから今、3回目の答申（案）に対しての意見反映をした上での、この最終的な答申（案）となっているとのご説明がありました。

それでは、改めて、各委員からのご発言等がございましたら、お願いいたします。
どうぞ。

【委員】（区議会議員）

可搬ポンプ積載車の退避場所についてですが、何十台もあるわけではないので、例えば、民間の商業施設で3階とか4階が駐車場になっているところとかにお願いして、置かせてもらえないかと思います。

そういうところと協定を結んだりしたらどうなかと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

【委員長】

具体的なご意見を今いただきましたが、警防課長、お願いします。

【事務局】（向島消防署警防課長）

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

消防車については、現在、そういう協定を結びまして、商業施設の一部を貸していただいて、何台かはそこに上げるようにしております。

消防団に関しても、検討していけばいいかと思いますが、現在は、ハザードマップを見ますと、浸水しないところが墨田区内にありますので、その辺の空地を考えて、退避させるべきかなということを考えております。

本所に関してはいかがでしょうか。

【事務局】（本所消防署警防課長）

本所消防署の警防課長でございます。

本所消防署管内につきましては、ハザードマップを見る限り、区役所の近辺、国技館の西側以外のところにおいては、1メートルから3メートルの浸水区域になっております。

それ以外の商業施設については、立体型駐車場等がないのですが、可能なところを検討しているところでございます。もちろん、消防団に配置されているポンプ車につきましても、そういう場所が見つかればと考えております。

【委員長】

どうぞ。

【委員】（学識経験者（都議会議員））

関連してですが、緊急車両が浸水して、使えないということになってはいけませんの

で、今言った商業施設も大事ですが、商業施設に入れない車があります。

例えば、大型のはしご車等は、特殊な場所でないと入れないということもありますので、東京都と国のほうにも、首都高の活用ということを検討してもらっているところです。

そこに住民が避難するということは、まだまだ課題があると思いますが、緊急車両を一時的にそこに逃がすということは、十分できるということもありますので、東京都、国と江東５区との会議の中で、そういう話をぜひ検討してもらいたいと思っています。

【委員長】

ありがとうございます。

参考にさせていただきながら、これはまた、引続きの課題として、今のお２人のご提案は非常に重要な課題だと思いますので、この答申を含めて、しっかり対応していくことが必要になってくると思います。

ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

【委員】（区議会議員）

「避難所の支援等」というところについて、ちょっとお伺いしたいと思います。

この消防団員の中には、町会関係者、学校関係者というように、地域とのつながりが強い方もいらっしゃいます。

ですので、「避難所と分団のつながりや関係性から支援できるところは支援を行えるような体制を確保する」と記載されています。

この状況というのは、「水防第３非常配備態勢」の時期になると思うんですが、こういった地域での支援に関わるときにも、これは、消防団長の判断、指示のもと、その地域でやっていただくということになるんですか。

【委員長】

警防課長、お願いします。

【事務局】（向島消防署警防課長）

紛らわしい言い方をしまして、すみません。

台風１９号が発生したときは、電車が動かなくなるという「計画運休」の関係から、従来より早めに「第３非常配備態勢」をかけてしまいました。

これは、消防署員を集めるためにかけたものでありまして、地域にお住まいの消防団の方々に関しては、その時間かけられたため、１０時間以上も待つはめになってしまいました。

これを受けまして、まず消防団長に、参集の時期かどうかを判断していただくこととなります。その判断が出るまでは、避難所の支援などをしていただいても結構ですが、団長が消防団員に参集をかけたときには、すぐに来ていただけるような態勢を整えていただく。

このように読んでいただければと思います。

【委員】(区議会議員)

第3でも第2でも、消防団長が参集時期を決められたら、すぐ参集するということですね。

【事務局】(向島消防署警防課長)

はい。そのとおりです。

【委員】(区議会議員)

わかりました。ありがとうございます。

【委員長】

ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

【委員】(向島消防団長)

今お話がありましたとおり、台風19号のときに、私どもが参集をかけましたら、地域の消防団員が多いものですから、23区の特別区の消防団員が6000名も集まったんです。

これは、地域に密着した私たちの消防団員ですから、今お話があったとおり、第3の配備態勢がかかると、そういうふうな態勢で、常備の消防署の職員の方々ではなく、私ども、両団長が号令をかけていくという形になっております。

だから、6000名も集合するとなると、集まる場所が重要なことになってしまいますが、そういうしっかりした体制をとってあります。

【委員長】

ほかにいかがでしょうか。続けてどうぞ。

【委員】(向島消防団長)

追加で、この答申(案)に書かれている救命胴衣についてです。

格納庫の整備については、区長さんのおかげで、向島、本所での設備がされてきたことは事実です。ただ、平面のそういう格納庫の場所もありますが、最近の事例では、土地を提供されますと、2階建てにという指示が、東京消防庁から指示されてきていることは事実です。

そういうことになると、救命胴衣、救助用のボートの整備が必要になってくるかなと思います。

最近の報道だと、地震というよりも、“ゲリラ豪雨”による水害の問題が、大きな課題になっておりますので、ぜひこの辺の準備が必要だということではなくて、「配置すべきだ」ということを、きょうは、両署長さんもおられますし、私たち両団長もおりますので、この委員会の答申の中に含めて、しっかり整備していただきたいというお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

	<p>【委員長】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>向島消防団長からのご意見ということで、厳粛に重く受けとめて、区でも、都とも連携しながら、これは、優先課題として対応したいと思います。</p> <p>そして、研修等もしていただきながら、区民の命を守るというところに結びつけていただきたいというのが、委員長、区長としても、それが本音でございますので、ぜひ対応したいと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>先ほど申し上げたように、この最終答申（案）はよくまとめていただけたと思いますが、先ほどもいろいろご意見をいただきましたので、さらに課題がございますというところでございます。</p> <p>ぜひこれをもとに、団長からも今お話があったように、区民の安心、安全を守るため、消防団、消防署を中心に対応できたらと思いますので、引続きよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、この内容のとおり、墨田区消防団運営委員会の最終答申として決定させていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〔全員賛成で承認〕</p> <p>なお、一部、字句等に訂正がある場合は、その取扱いを一任させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〔全員賛成で了承〕</p> <p>これで本日予定された議題は全て終了いたしました。</p> <p>5 その他</p> <p>【委員長】</p> <p>せっかくのお集まりでございますから、この際、何かございましたら、ご意見を願いたいと思いますが、いかがでございましょうか。</p> <p>今、九州や中国地方の豪雨災害を目の当たりに見ております。</p> <p>それから、熱海の土石流の状況を動画を見ておりますと、崩れた状況はとても酷い状態だと思いました。それとともに、消防団の方々の動きとか活躍されている姿が見られました。危機一髪で逃げることもできた方々もいらっしゃったということです。</p> <p>お見舞いを申し上げると同時に、消防団の方々の任務というものも、非常に重いんだということを、昨今の災害状況を見ても、改めて強く思いました。</p> <p>今後とも皆様方からご意見を賜りながら、消防団の皆様に対して、しっかり我々がご支援ができるような中身に、これからもしていきたいというところも思いました。</p> <p>6 閉会</p> <p>【委員長】</p> <p>それでは、以上で墨田区消防団運営委員会を閉会させていただきます。</p> <p>お忙しいところまことにありがとうございました。</p>
所管課	都市計画部危機管理担当防災課